

こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算及び関連議案については、ヤミ専従の問題が発生し、平成29年度の過払い給与額が判明するまで継続審査となっております。決算特別委員会において、第三者委員会からの中間報告を受けて算出された、平成29年度の不適正な給与支給額約2,921万円の報告が行われ、調査対象の範囲が十分であるかを質疑し、確定できるものと判断し、平成29年度決算及び関連議案について、ヤミ専従問題の早急な全容解明などを求めた附帯決議を付して決算を認定し関連議案を承認しました。

また、市職員の組合費の給与からの天引きについて、市職労のみ平成31年4月1日より廃止することを盛り込んだ、議員提案のチェック・オフ廃止条例案に関しては、ヤミ専従の問題とチェック・オフ廃止は別問題であること、また、組合への加入の自由意志は担保されていることなどの理由により、こうべ市民連合議員団としては、反対の意思を表明しましたが、継続審査となっております。

一 般 質 問

川内きよなお 議員（垂水区）

障害者就労について

Q：今年度より民間雇用の法定率が2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務の対象に精神障害者も加わった。平成29年度の障害者就労推進センターと3か所の仕事サポートにおける市内障害者就労の実績としては、就職件数が247件となっており、前年比で14.9%伸びている。就職件数のほと



んどが知的、精神の2障害と聞いているが、定着率を見た場合、身体に比べて知的、精神は低い傾向にある。今後は就労実績だけでなく、定着率にも配慮し、また、就労にいたらない障害者の就労についても手を差し伸べていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

A：平成30年度は本市のしごとサポート3か所のデータを基に、就労困難な障害者や離職を繰り返す障害者へのフォローを行うため、東京大学に委託し、支援事例の集積や支援マニュアルを作成することとしている。支援マニュアルをしごとサポート等と共有し、今後の就労支援や就労定着支援に活用していきたいと考えている。今後とも、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めて参りたい。

永江一之 議員（灘区）

1. 神戸市内の観光施策について

日本のインバウンド市場は急激な成長を遂げていますが、神戸市における外国人観光客数の伸び率は、国の伸び率に届いておらず、特に「公共交通機関の利便性向上」が課題と考えており、これまで神戸が取り組んできた連節バスの社会実験などの成果と今後の取り組みについて質問いたしました。

また、市バスやシティーループバスなど既存の公共交通をもっと生かしてほしいと要望しました。



2. 神戸市都市空間向上計画について

人口減少に対応した持続可能なまちづくりを行っていくための都市空間向上計画が策定されようとしています。50年先の神戸を想定したこの計画ですが、50年というと人の人生では二世前に進んだ世の中ですが、まちづくりではあっという間です。人口減少・少子高齢化社会で起きることが想定される様々な問題に対し、その問題意識を市民の皆様と共有していくことが何よりも大事であるとの思いで質問させていただきました。

3. 災害に強いまちづくりについて

これまでに多くの自然災害を乗り越えてきた神戸市として、何よりも市民の命を守ることが一番大切との思いから、高齢化が進む中での的確で迅速な避難情報の発信の在り方や、市民の皆様の防災意識を高める施策について質問させていただきました。